

ポケットカード株式会社 2013年2月期決算説明会

代表取締役社長 **渡辺 恵一**

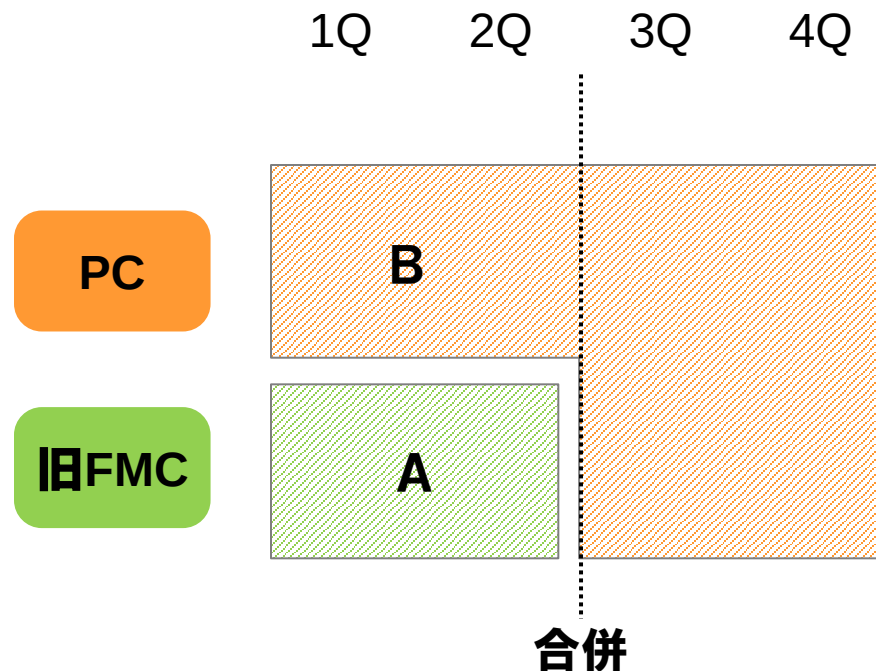


暮らしを
クリエイティブに➡

先へ、ひろがるサービスはじまる。
ポケットカードはさらに付加価値の高いサービスへ、
今までにないクリエイティブな暮らしを。

2013年2月期決算数値説明における前提

- 2013年2月期は期中の合併に伴い決算短信の公表数値は単体決算（下表「A」(旧FMC社収益及び費用等)が除外）
- 本決算説明資料における2013年2月期数値は前年度比較の簡便化を目的に「**仮連結ベース**」の数値を使用（下表 **A+B**（連結相殺等の処理含む））



業績概況

百万円

	12年2月期 (連結)	13年2月期 (仮連結)	前期比	増減率	13年2月期 (単体)	<参考> 業績予想 (1/11公表)
① 営業収益	35,412	33,555	-1,857	-5.2%	31,538	31,500
② 営業利益	1,666	2,902	+1,235	+74.2%	2,746	2,700
③ 経常利益	1,627	2,910	+1,283	+78.9%	2,759	2,700
④ 当期純利益	1,020	-	-	-	2,640	2,600

営業利益 前期差異要因

	12年2月期	13年2月期	前期差
営業利益	16.6 億円	29.0 億円	+12.4 億円

増益要因 + 61.4 億円

減益要因 - 49.0 億円

ショッピング収益 増
+22.0

キャッシング収益 減
-42.6

貸倒・利息返還関連費用 減
+20.2

金融費用 減 +7.6

統合関連費用 増 -6.4

その他の販管費 減 +9.6

その他収益 増 +2.0

営業利益
16.6

営業利益
29.0

12/2期

13/2期

取扱高

百万円

	12年2月期 (連結)	13年2月期 (仮連結)			13年2月期 (単体)
			前期比	増減率	
① 信用購入 あっせん	363,164	378,456	+15,292	+4.2%	302,072
② 融資	32,518	32,349	-169	-0.5%	24,667
③ その他	3,469	4,166	+696	+20.1%	4,166
④ 合計	399,152	414,972	+15,820	+4.0%	330,906

債権残高

百万円

	12年2月期	13年2月期	前期比	増減率
① 割賦売掛金※	126,922	140,171	+13,248	+10.4%
② 営業貸付金	93,621	73,303	-20,318	-21.7%
③ 合計※	220,544	213,475	-7,069	-3.2%

※債権流動化オフバランス分含む

営業収益

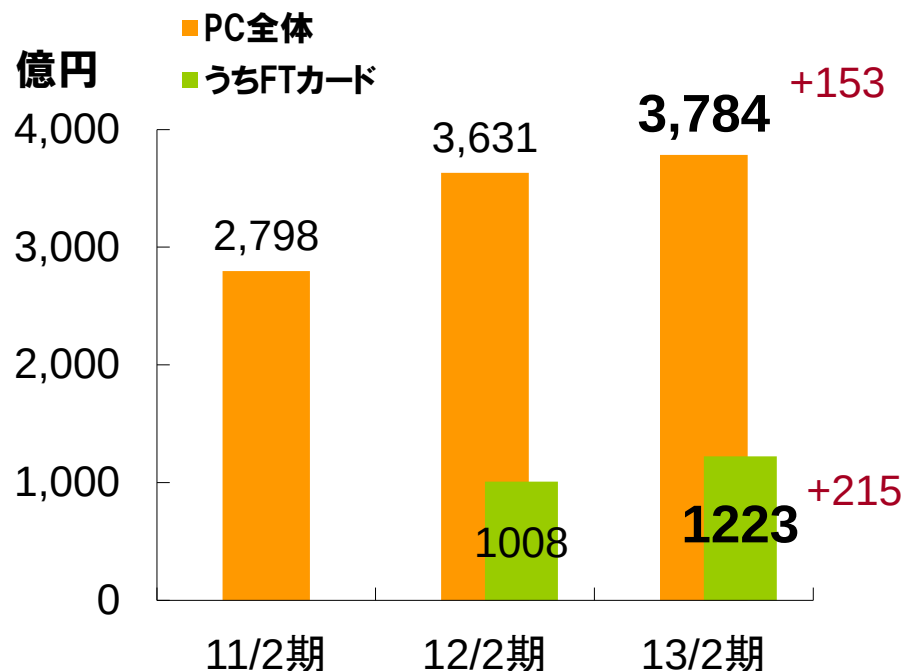
百万円

	12年2月期 (連結)	13年2月期 (仮連結)	前期比	増減率	13年2月期 (単体)
① 信用購入 あっせん	15,684	17,880	+2,196	+14.0%	13,879
② 融資	17,262	13,001	-4,260	-24.7%	11,675
③ その他	2,465	2,672	+206	+8.4%	5,983
④ 合計	35,412	33,555	-1,857	-5.2%	31,538

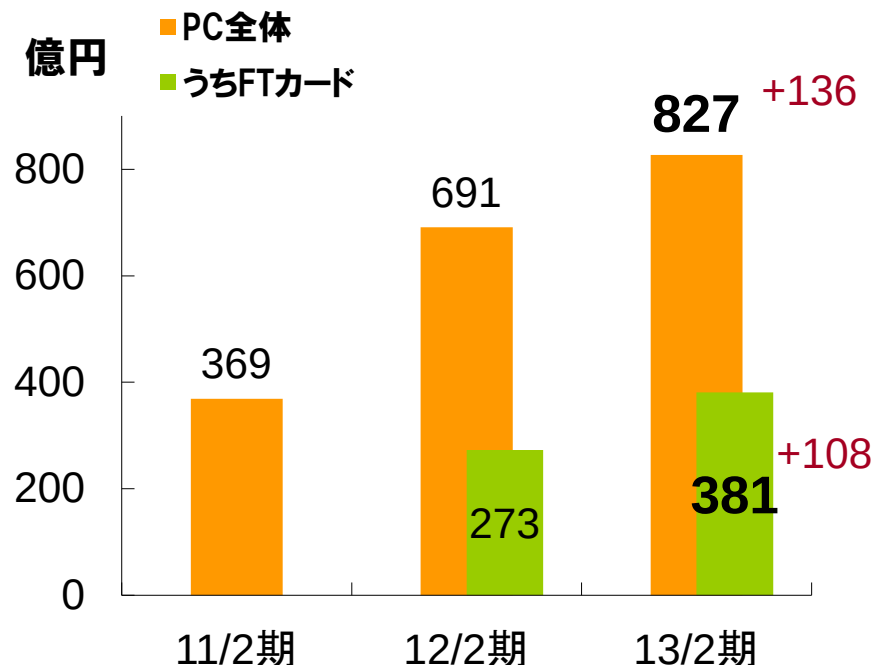
信用購入あっせん部門①

ファミマTカードを中心に取扱高、リボ残高共に拡大

取扱高



ショッピングリボ残高



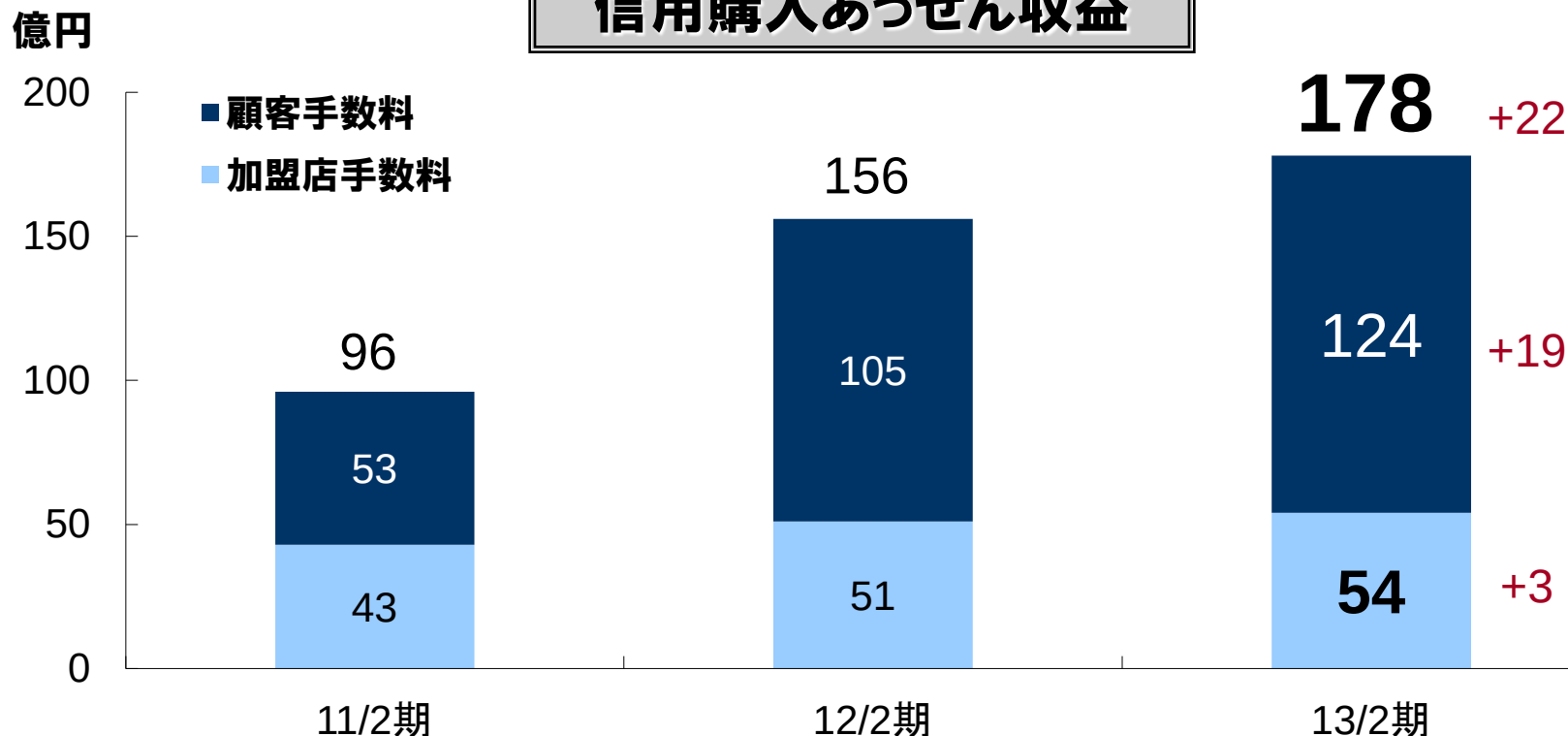
※11/2期は単体、12/2期は連結、13/2期は仮連結数値を掲載しております。

※12/2期より旧ファミマクレジット(株)を含んだ数値を掲載しております。

信用購入あっせん部門②

ショッピングリボ残高の増加により
顧客手数料が増収の牽引役に

信用購入あっせん収益

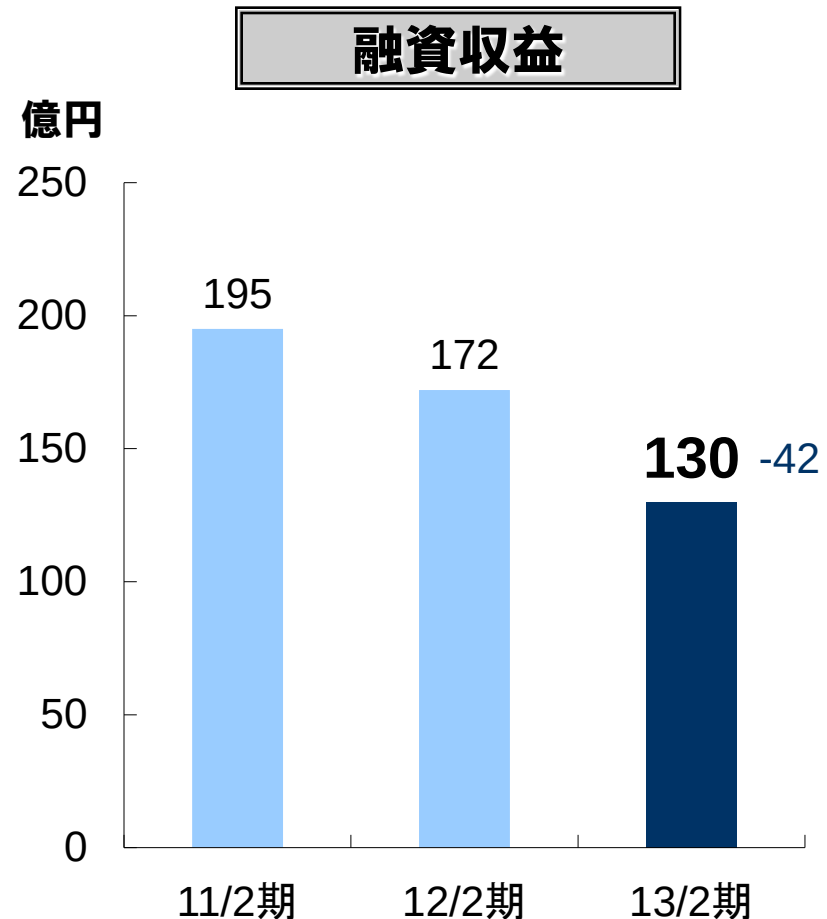
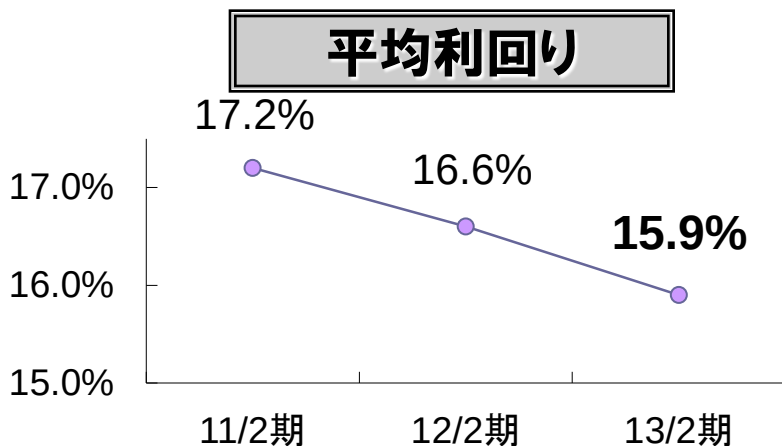
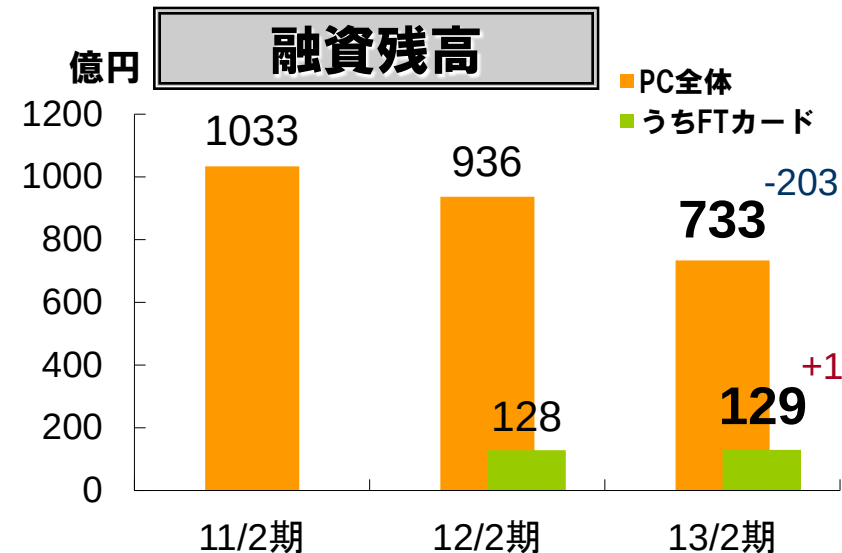


※11/2期は単体、12/2期は連結、13/2期は仮連結数値を掲載しております。

※12/2期より旧ファミマクレジット(株)を含んだ数値を掲載しております。

融資部門

PC全体では引続き減少もFTカードは横ばい
残高減少、利回り低下により収益減

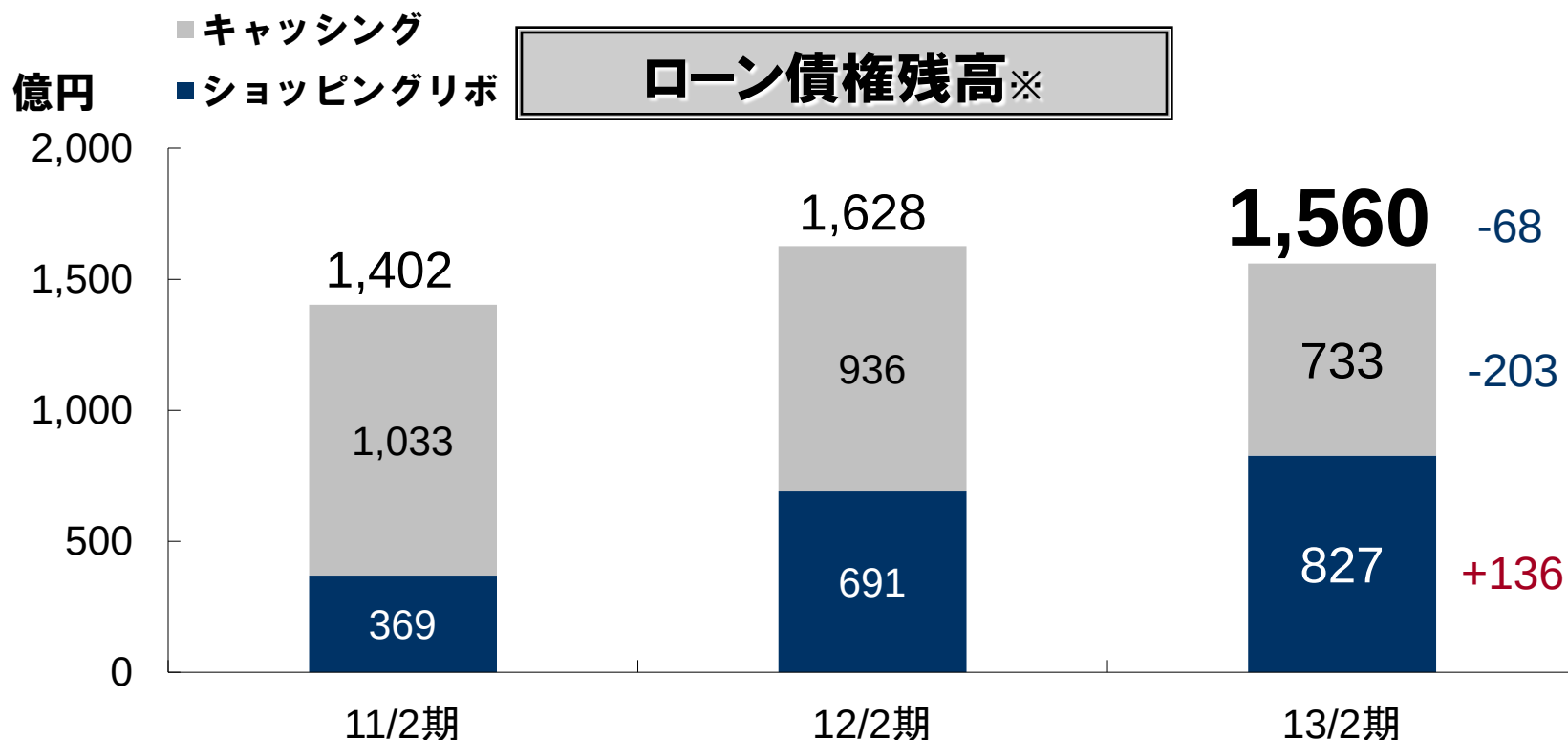


※11/2期は単体、12/2期は連結、13/2期は仮連結数値を掲載しております。

※12/2期より旧ファミクレジット(株)を含んだ数値を掲載しております。

ローン債権残高

キャッシング残高の減少をショッピングリボ残高の増加にて
一定抑制するも残高全体では前期比減少



※ローン債権残高=ショッピングリボ残高+キャッシング残高

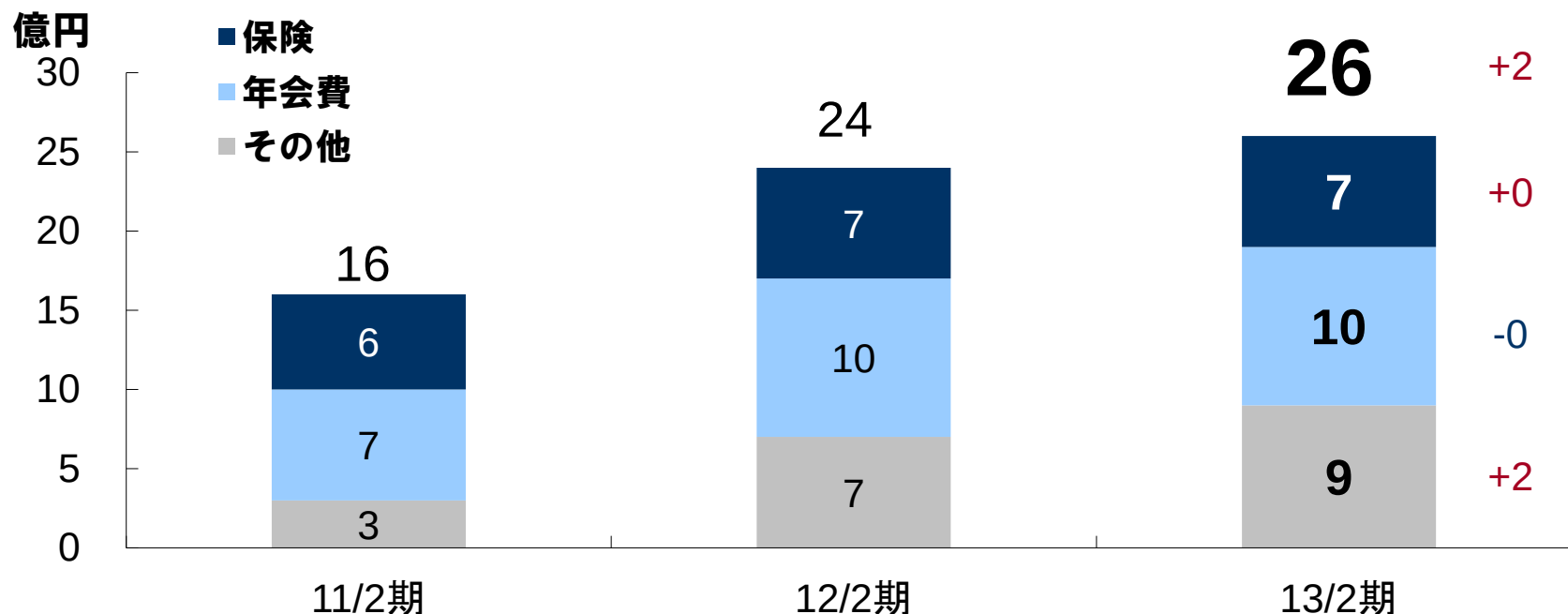
※11/2期は単体、12/2期は連結、13/2期は仮連結数値を掲載しております。

※12/2期より旧ファミマクレジット(株)を含んだ数値を掲載しております。

その他営業収益

保険、年会費を含むその他営業収益は微増

その他営業収益



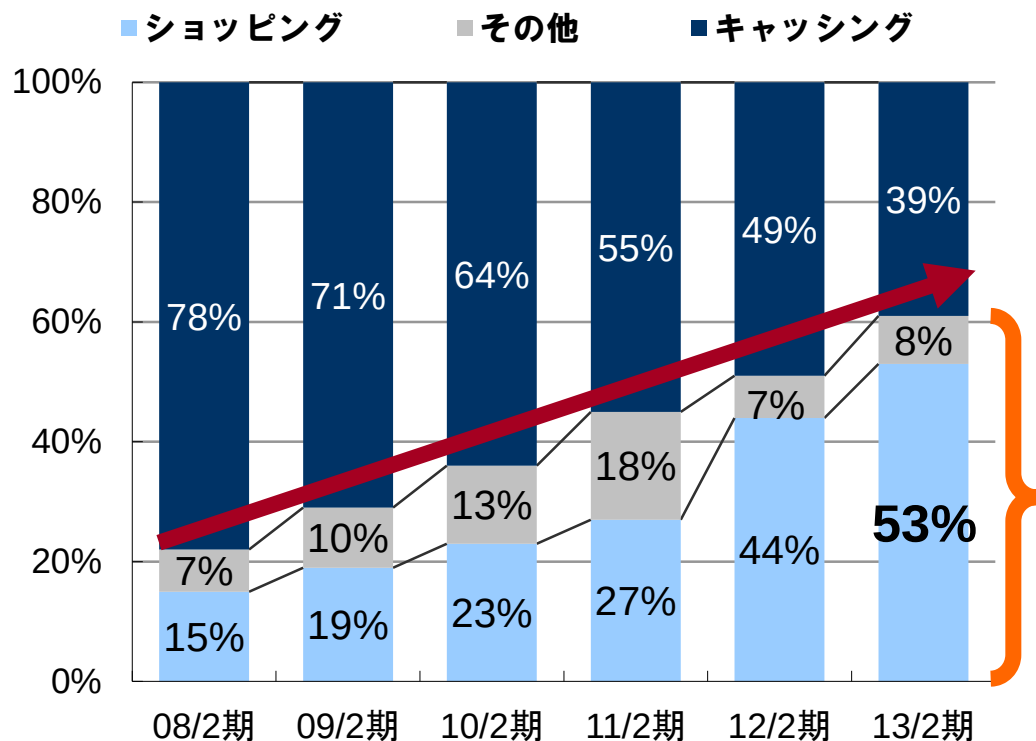
※11/2期は単体、12/2期は連結、13/2期は仮連結数値を掲載しております。

※12/2期より旧ファミマクレジット(株)を含んだ数値を掲載しております。

収益構造の変革

ショッピング収益が初めて全体の50%を超える
キャッシング収益依存からの脱却

収益内訳比率



ショッピング
その他収益で
収益全体の6割に

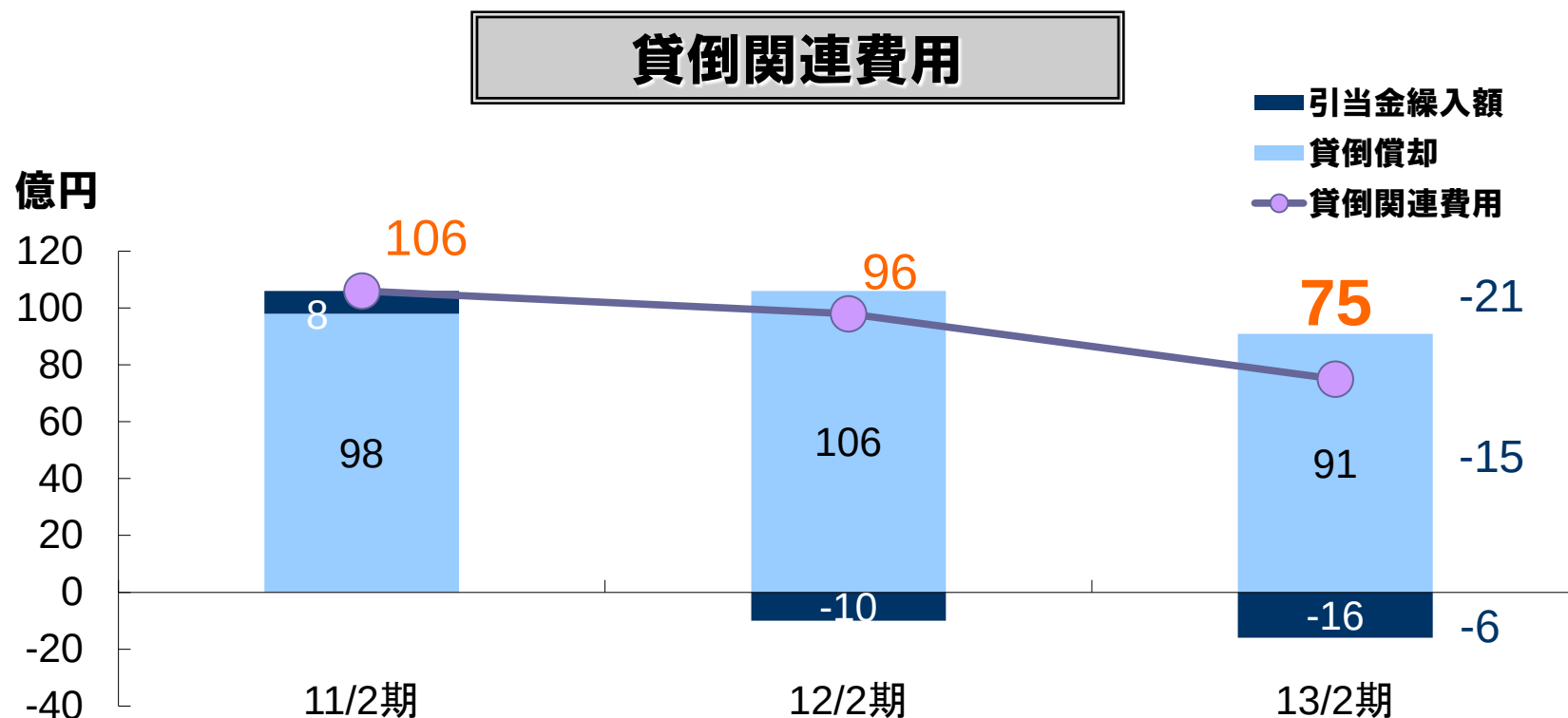
営業費用

百万円

	12年2月期 (連結)	13年2月期 (仮連結)	前期比	増減率	13年2月期 (単体)
① 金融費用	2,959	2,199	-759	-25.7%	1,845
② 販管費	30,787	28,453	-2,333	-7.6%	26,945
③ 貸倒・利息返還関連費用	12,140	10,122	-2,019	-16.6%	10,121
④ その他販管費	18,645	18,330	-315	-1.7%	16,824
⑤ 営業費用	33,746	30,653	-3,093	-9.2%	28,791

貸倒関連費用

債権の良質化、融資残高の減少により
貸倒関連費用は減少



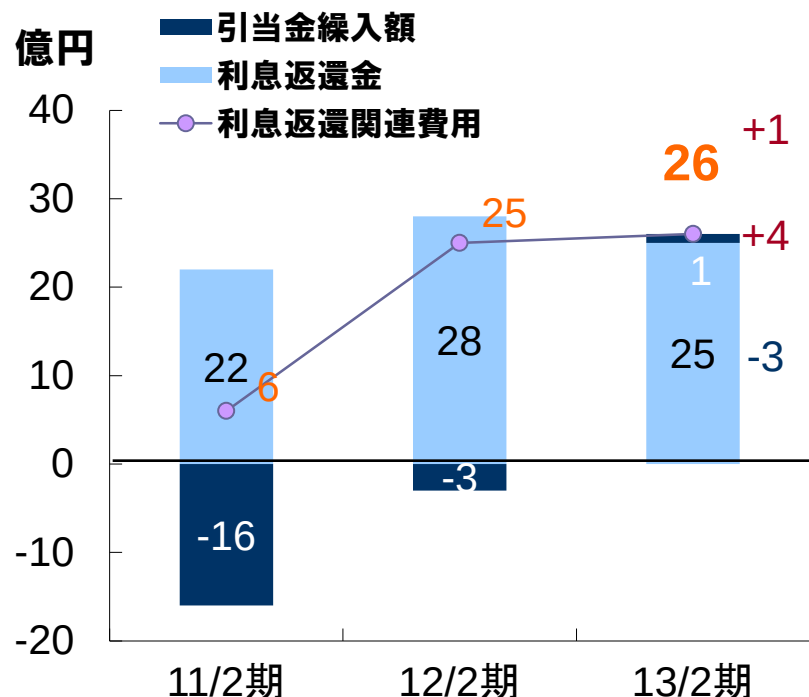
※11/2期は単体、12/2期は連結、13/2期は仮連結数値を掲載しております。

※12/2期より旧ファミマクレジット(株)を含んだ数値を掲載しております。

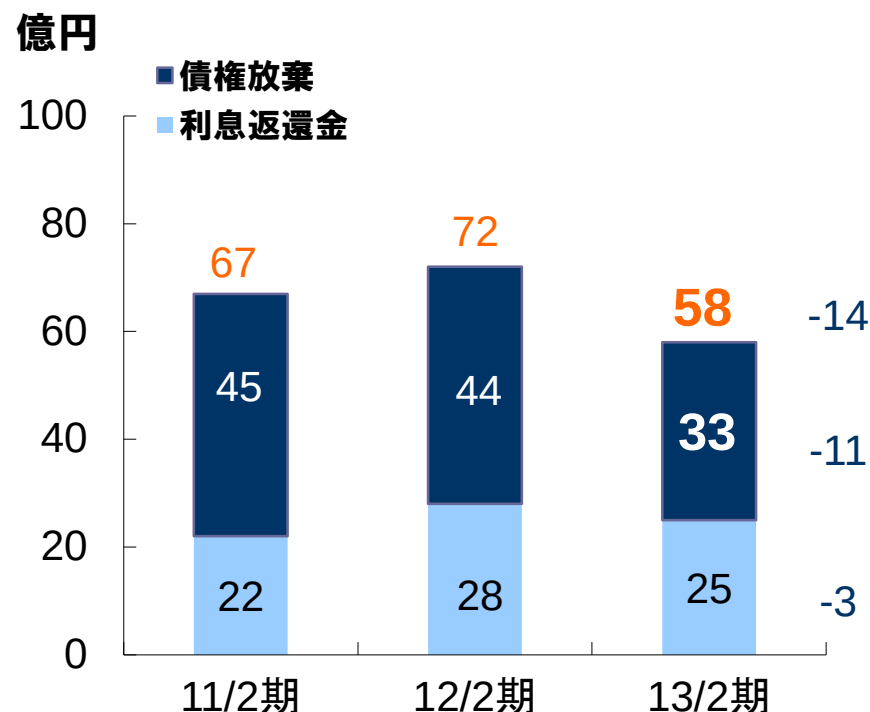
利息返還関連費用①

利息返還関連費用は当初見込みより上振れ
利息返還金と債権放棄を合算した実費用額は減少

利息返還関連費用



利息返還金+債権放棄



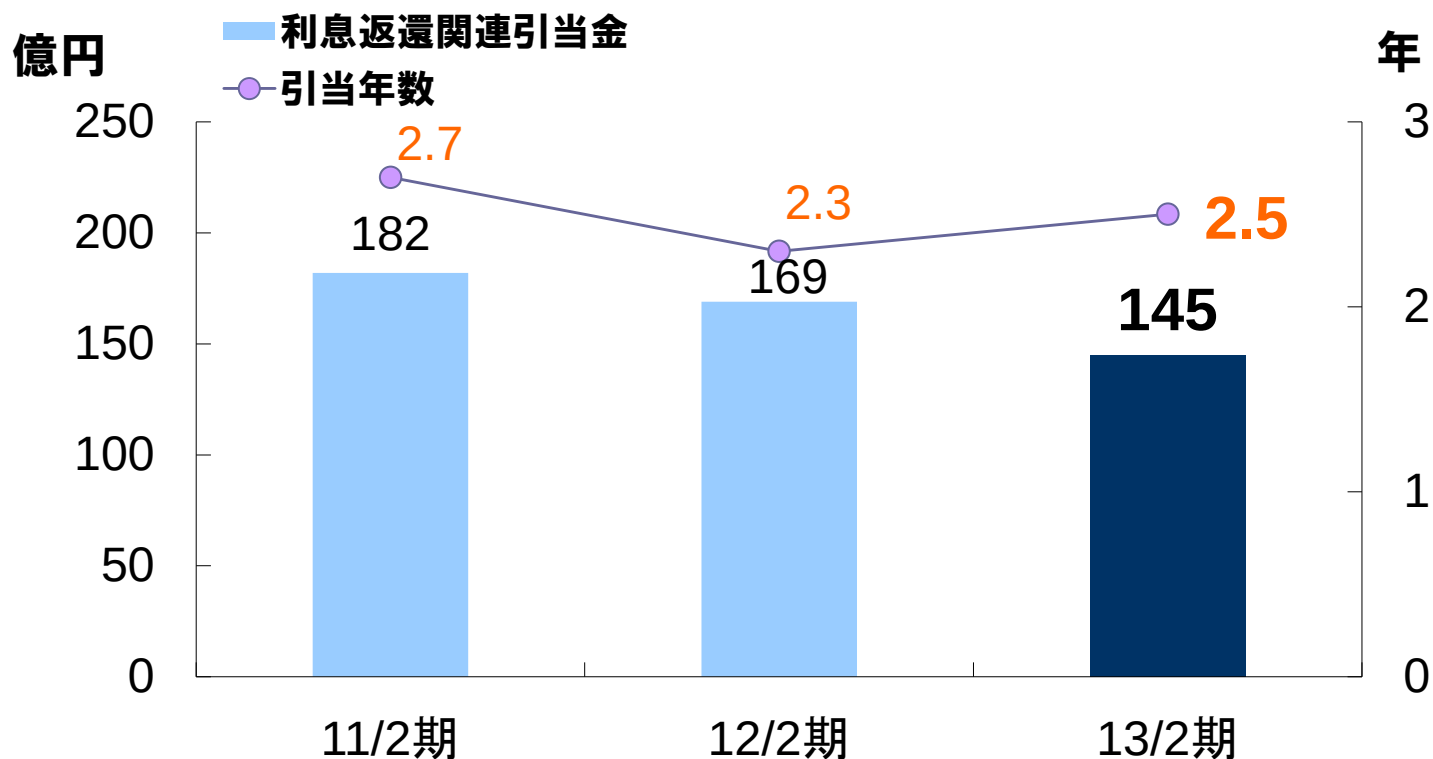
※11/2期は単体、12/2期は連結、13/2期は仮連結数値を掲載しております。

※12/2期より旧ファミマクレジット(株)を含んだ数値を掲載しております。

利息返還関連費用②

利息返還関連引当金の引当年数は2.5年と保守的な水準

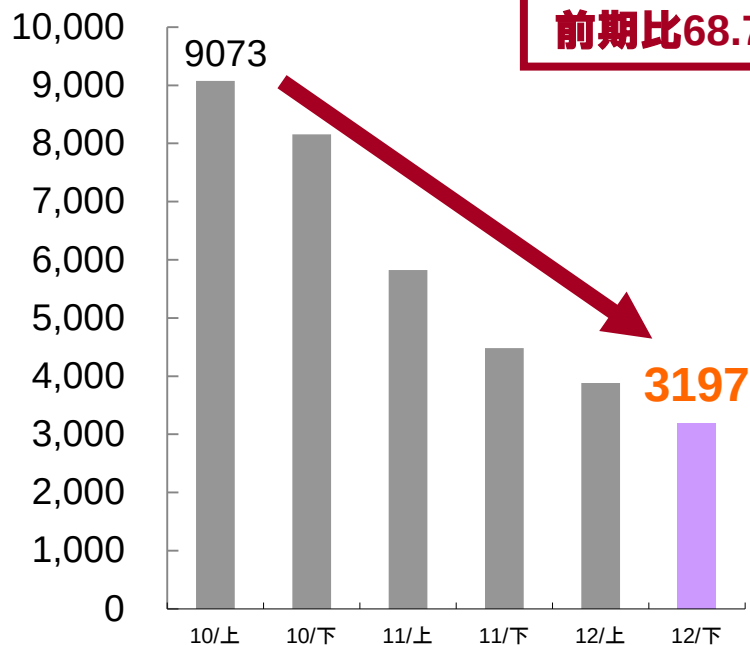
利息返還関連引当金



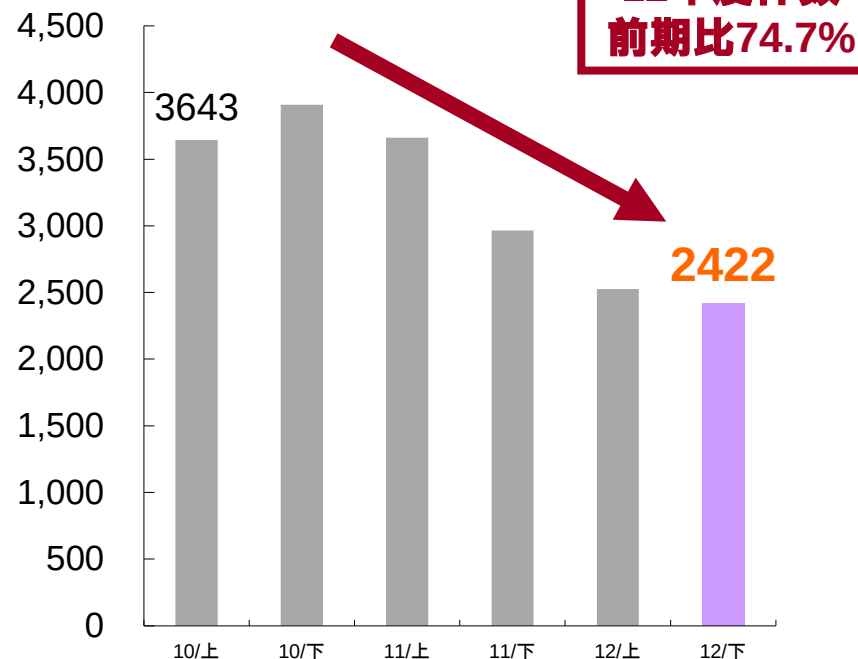
新規介入/利息返還請求件数

新規介入件数は過去最低水準まで低下
利息返還請求件数は当初見込みより高止まるも前期比減少

新規介入件数

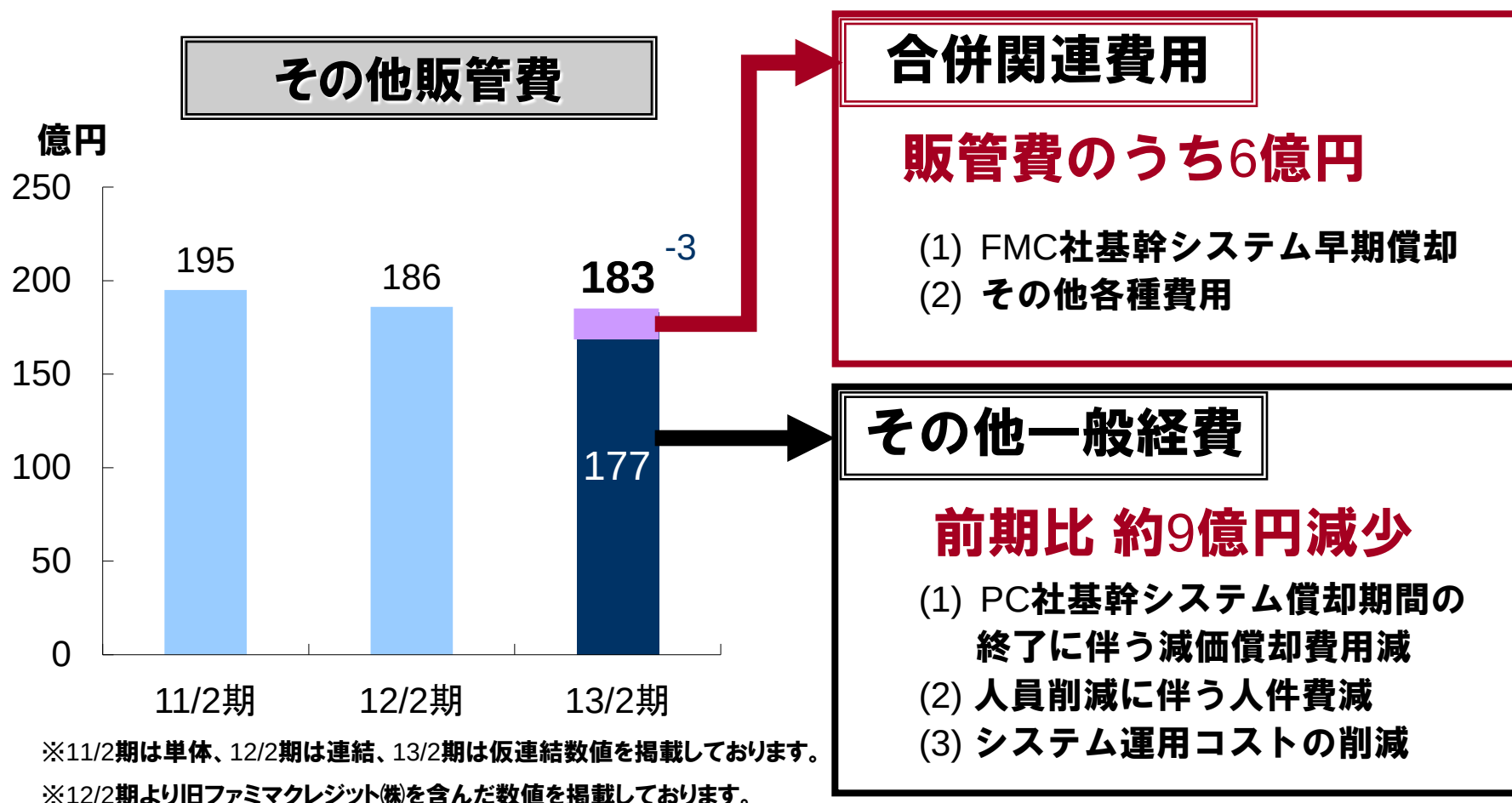


利息返還請求件数



その他販管費

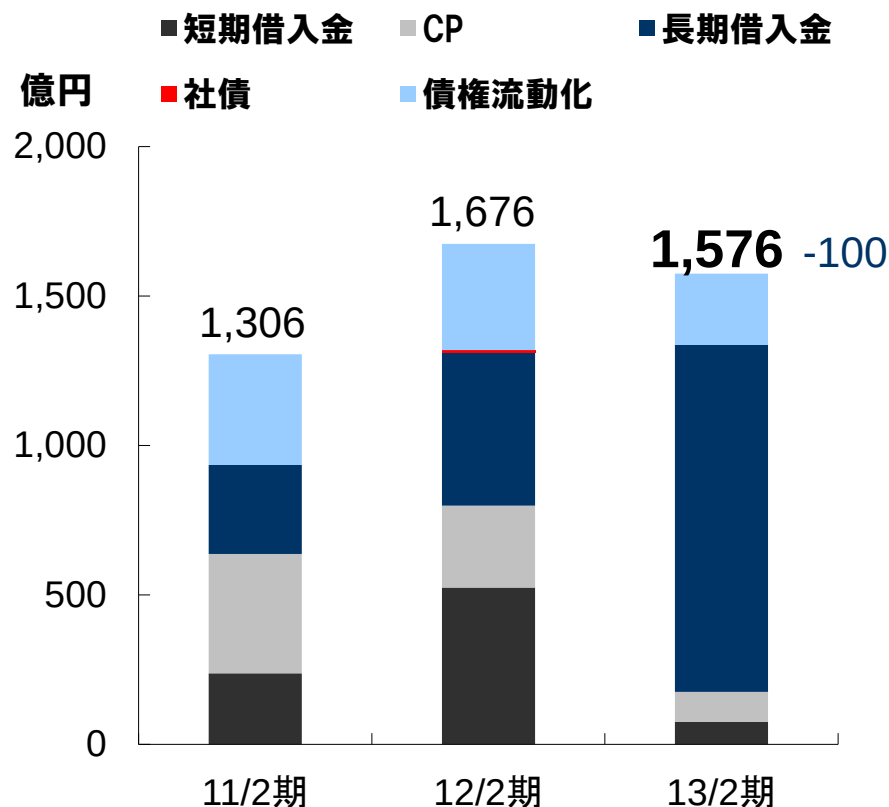
各種コスト削減等によりその他販管費は引き続き減少



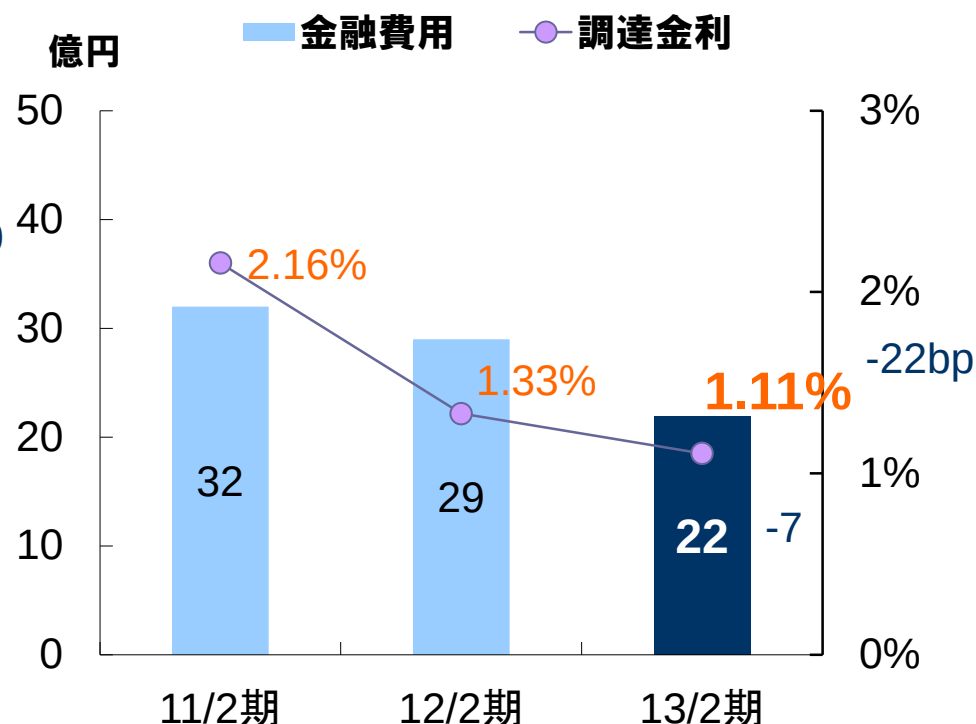
資金調達

調達金利は引続き低下し、金融費用も大幅減

調達総額



金融費用/調達金利



※11/2期は単体、12/2期は連結、13/2期は仮連結数値を掲載しております。

※12/2期より旧ファミマクレジット(株)を含んだ数値を掲載しております。

営業数値

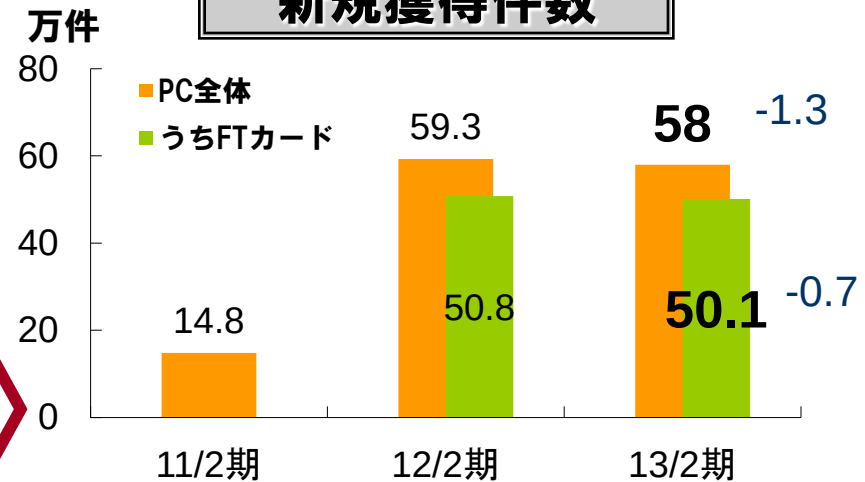
新規獲得・有効会員数はファミマTカードを軸に順調に推移

営業数値概況

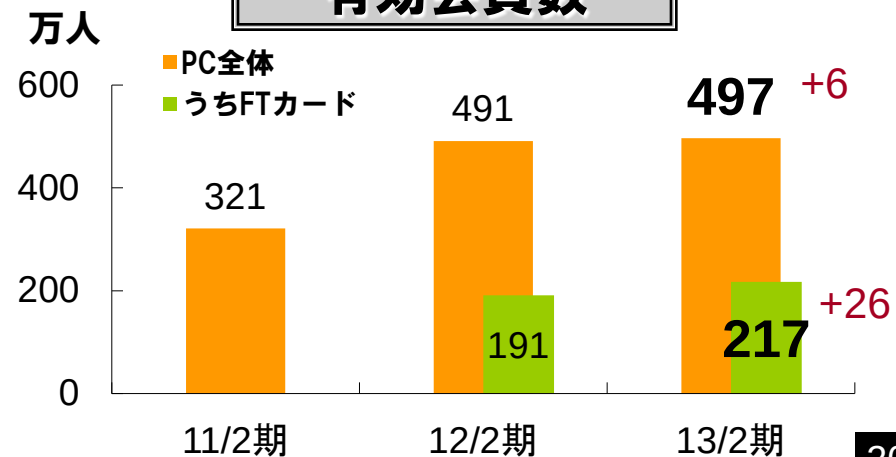
	13年2月期	前期比
① 新規獲得件数	580 千件	-13 千件
② 有効会員数	4,979 千人	+61 千人
③ 利用会員数	1,856 千人	+757 千人
④ 年間利用率	37.5 %	+0.5 pt

※③・④数値について、12/2期はポケットカード単体
13/2期は旧ファミマクレジット(株)を含んだ数値を比較しております。

新規獲得件数



有効会員数



2013年度經營方針

外部環境は改善傾向に

マイナス要因

- (1) キャッシング市場の低迷
- (2) 異業種参入等による競争の激化

- (1) 円安・株高の進行
景況感の改善
- (2) 利息返還請求の減少
- (3) 総量規制影響の沈静化
- (4) カード決済領域・
普及率の拡大

プラス要因

これまでの「守り」から今期は「反転攻勢」へ

◆ 内部環境の改善・安定化

①FMC社との合併・システム統合の完了

②キャッシング収益依存度の低下
(ショッピング主体の収益構造に移行)

③合併費用・利息返還関連費用の減少

2013年度重点取組事項

1

成長戦略としてのファミマTカード事業の拡大

2

収益構造の変革と多様化

3

サービス&オペレーションの競争力強化

4

コンプライアンス体制の継続的強化

1. 成長戦略としてのファミマTカード事業の拡大

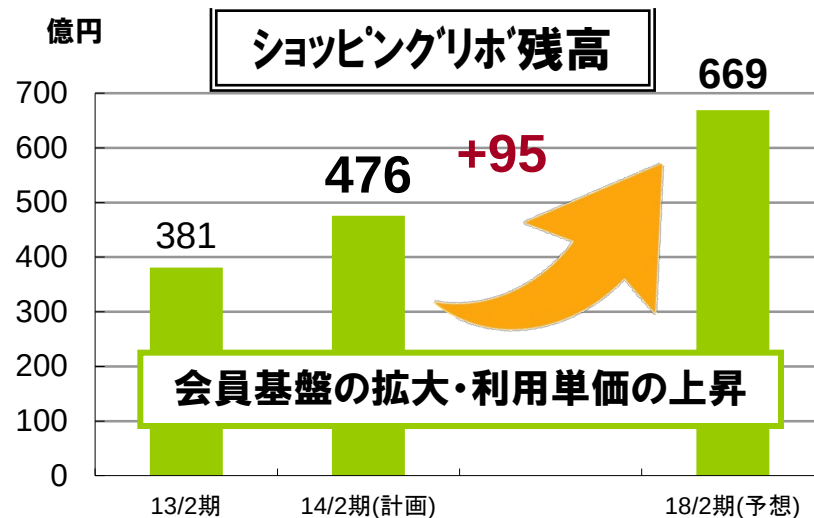
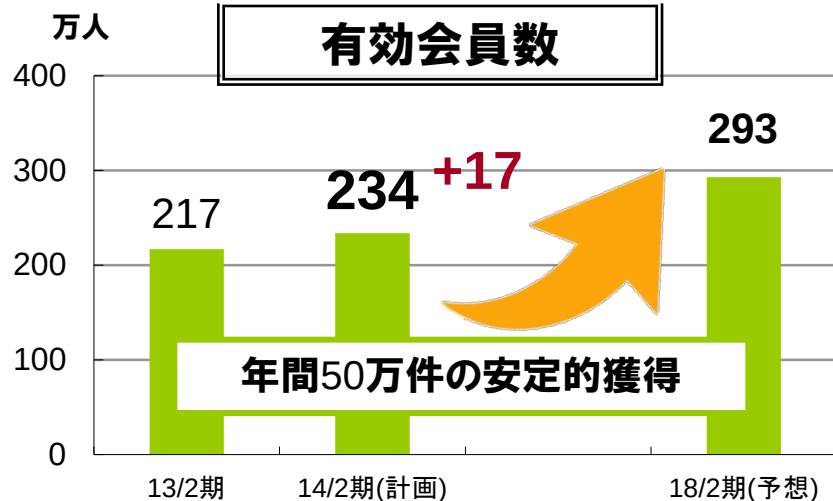
ファミリーマート社との強固な協力関係の構築により
持続的な事業拡大を目指す

ファミリマートとの連携強化

- ・会員募集業務での協力体制強化
- ・キャンペーン等を通じた来店機会の創出
- ・FM社CRM戦略と連動したカード展開
- ・金融事業での提案・サポート

あなたと、コンビニに、

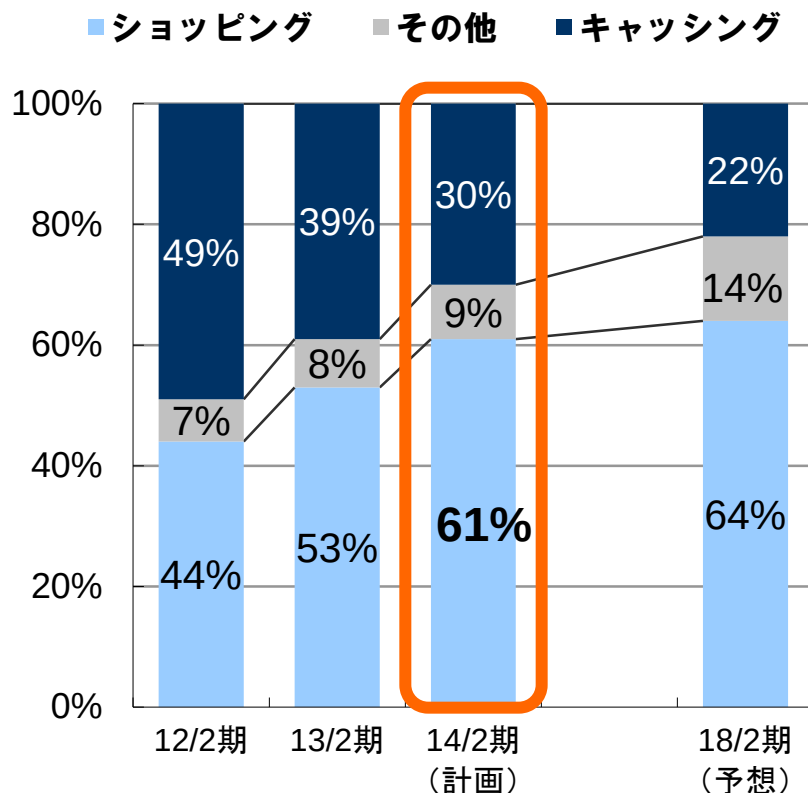
FamilyMart



2. 収益構造の変革と多様化

ショッピング事業を中心としたより安定的な
収益構造への変革を通じて増収を目指す

収益構成比



変革・多様化に向けた取組

- (1) ショッピングリボのメイン収益化
- (2) キャッシング事業の安定化
- (3) 周辺事業収入の拡大

収益構造の変革と多様化

ショッピングリボの
メイン収益化

FTカード推進

DBM強化

キャッシング事業の
安定化

総量影響一巡

金利優遇

周辺事業収入の拡大

保険代理店事業拡大

(1) ショッピングリボのメイン収益化

ファミマTカードを中心に拡大 既存カードも各種残高拡大施策を実施

“リボ”という付加価値(利便性)の提供



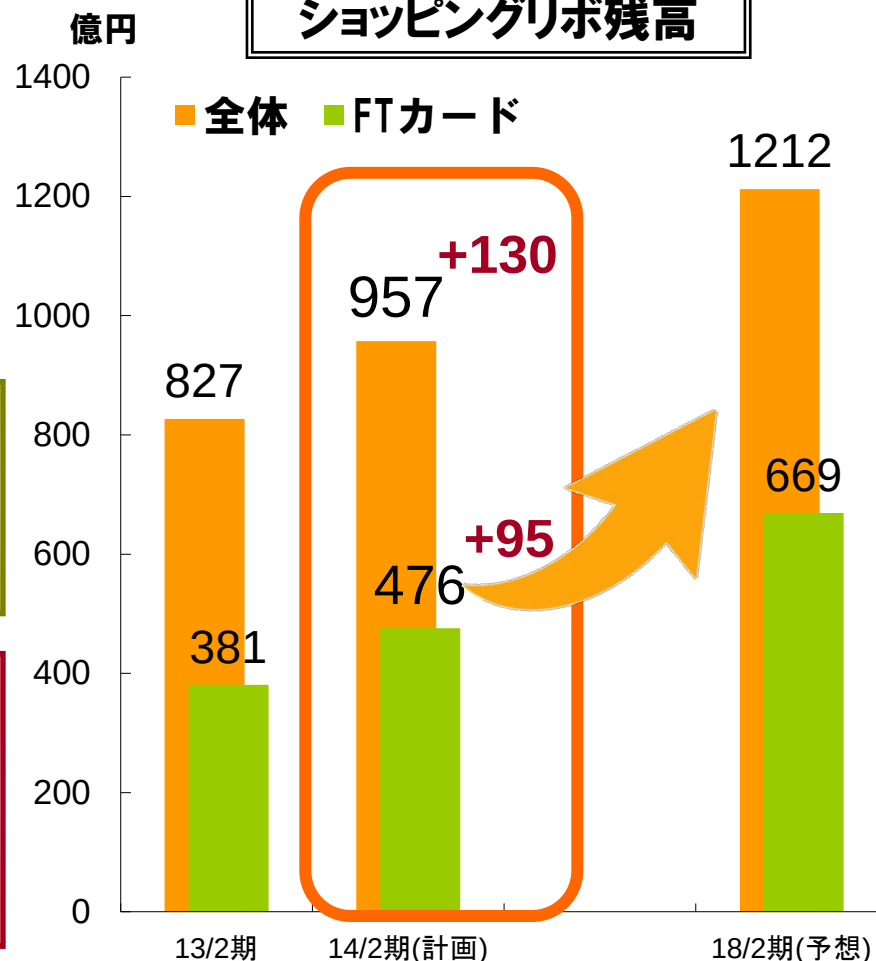
ファミマTカード

- (1) カード会員基盤の拡大
- (2) 与信の精緻化

既存カード

- (1) リボの商品性強化
- (2) アウトバウンドの推進
- (3) 会員獲得・ショッピング取扱高の拡大
＜新規獲得計画 12年度 8万件⇒13年度 13万件＞

ショッピングリボ残高



(2) キャッシング事業の安定化

各種取組みにより、
13年度末でのキャッシング残高底打ちを目指す

残高底打ちに向けた主要取組み事項

- (1) ファミマTカード会員の安定獲得・機動的な与信の実施
- (2) 優遇金利施策の推進
- (3) おまとめローンの拡大
- (4) 個人事業者向けローン強化
- (5) リスク&リターンの適正化

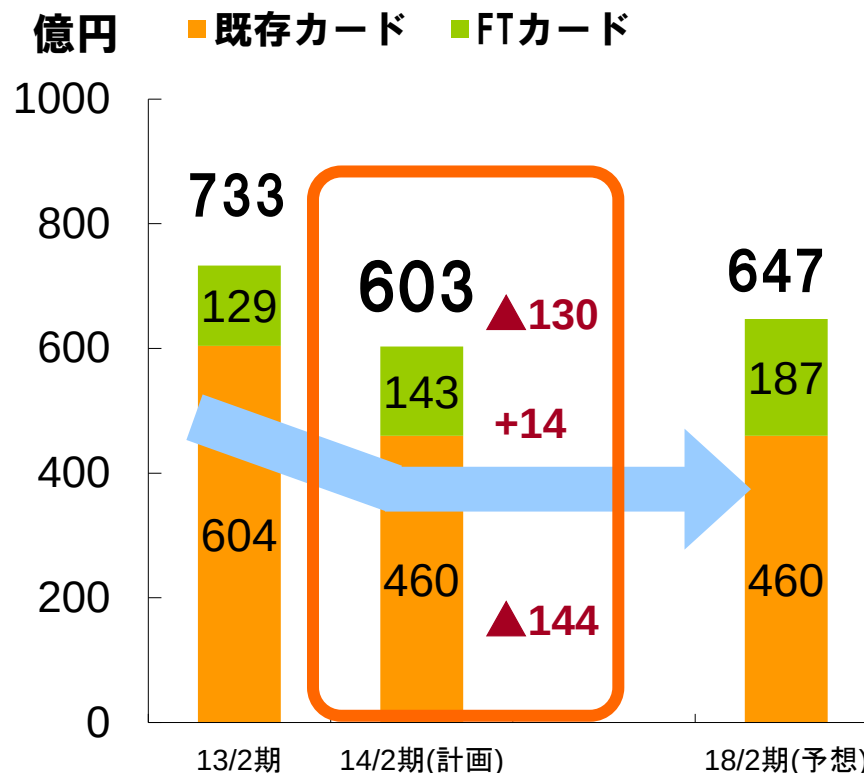
キャッシング残高
底打ち

+

債権良化による
貸倒の減少

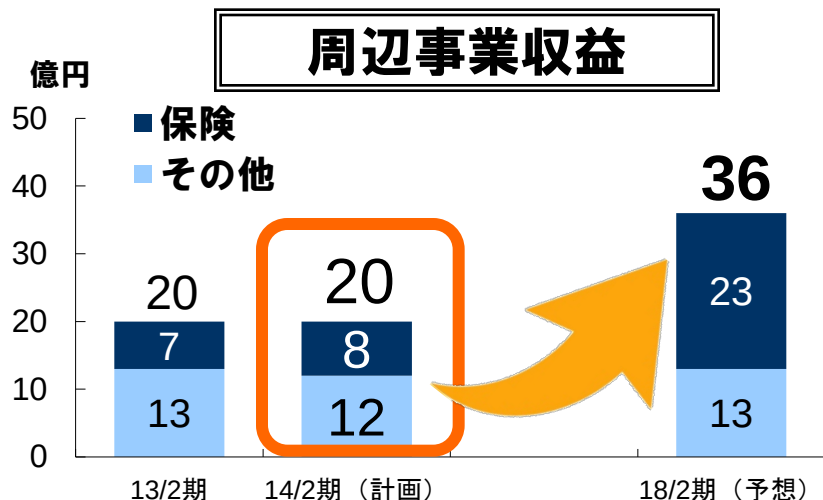
キャッシング事業の安定化へ

キャッシング残高



(3) 周辺事業収入の拡大

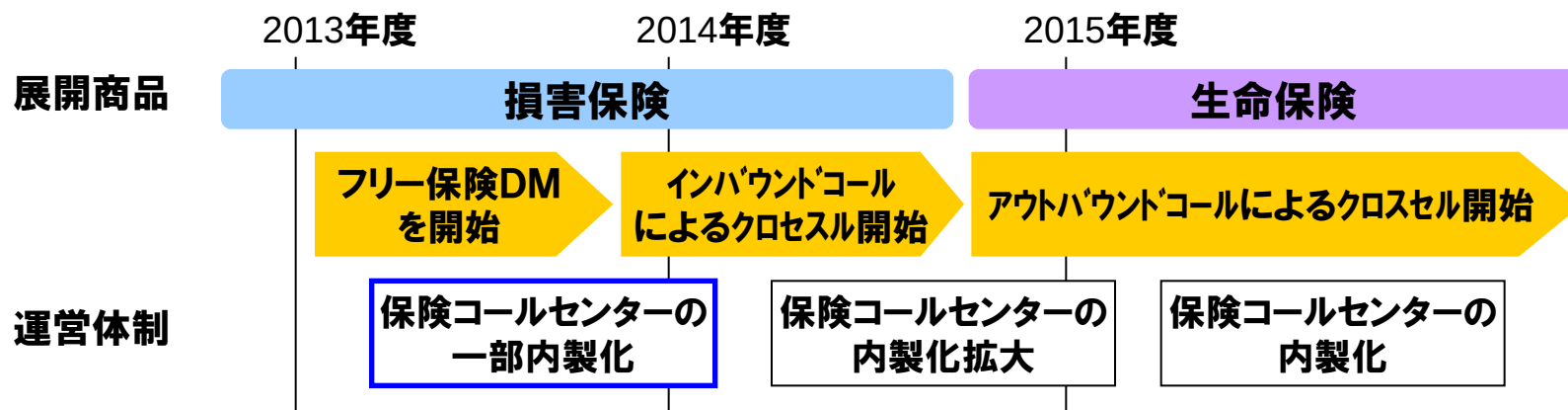
保険事業を中心に安定的な収益源としての
事業基盤の拡大を図る



保険事業 取組み事項

- コールセンターの内製化
- ファミマTカード会員へのアプローチ
- 取扱保険商品の拡大
- WEBチャネル販売の拡大

コールセンター内製化に向けたスケジュール



3. サービス&オペレーションの競争力強化

高水準なサービス&オペレーションの提供による 顧客満足度・企業競争力の向上

商品・サービス水準 の向上

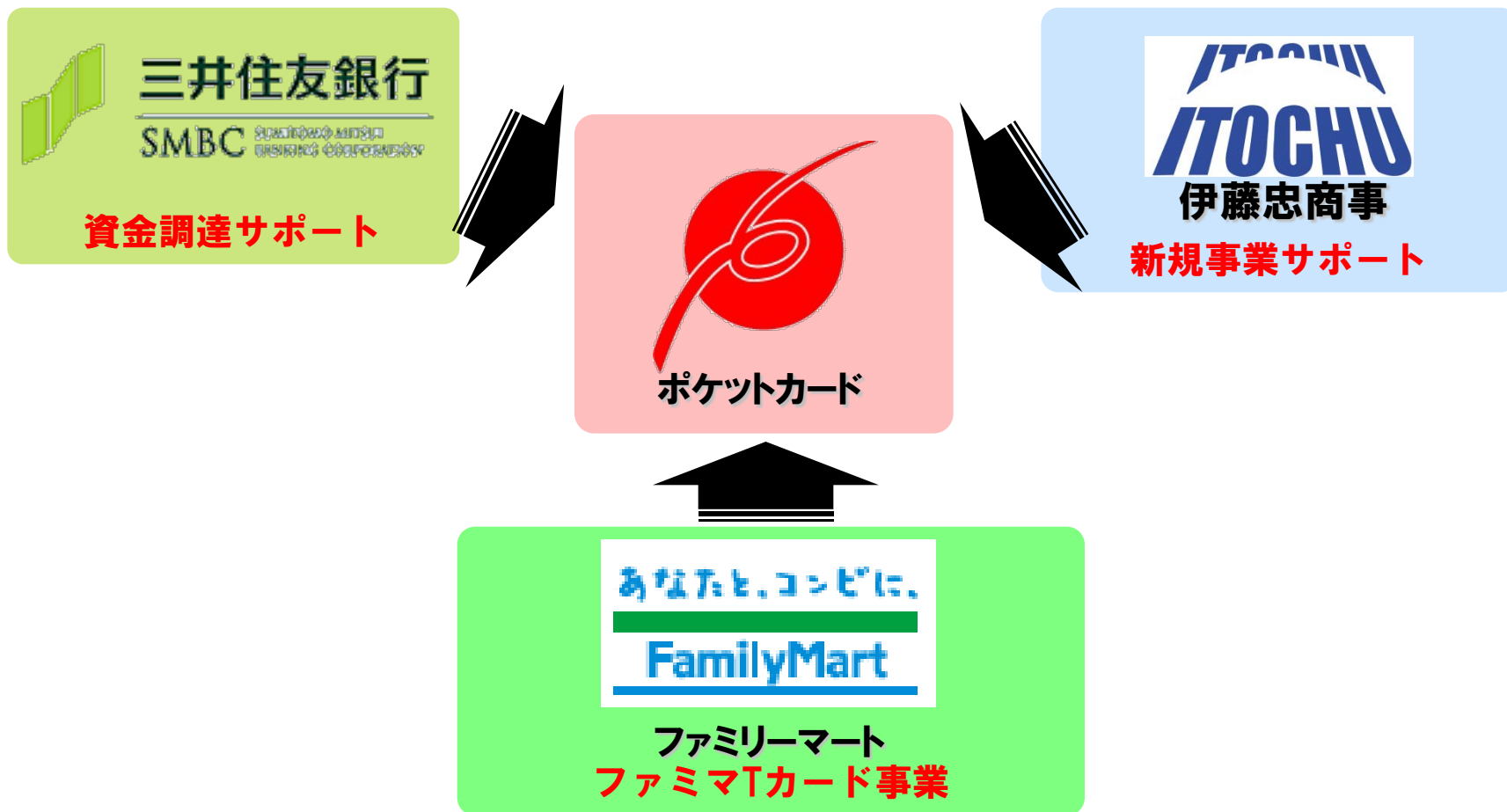
- 「請求時1%割引」「ファミマTカード」等ユニークで付加価値の高い商品・サービスの開発・提供
- データベースマーケティングを活用したお客様ニーズに沿った商品・サービスの提供
- 与信の最適化による顧客利便性の向上
- 「お客様の声」を活用したサービス改善活動の推進
- 提携先へのマーケティングデータの提供・活用

オペレーション品質 の向上

- 満足度の高いセンター機能の提供
（「クレームゼロ」の電話・対応品質）
- 部門を越えた業務オペレーションの最適化
- 審査・発行フローの改善、発行期間のさらなる短縮
- コンプライアンスを遵守した適正な回収業務の実施

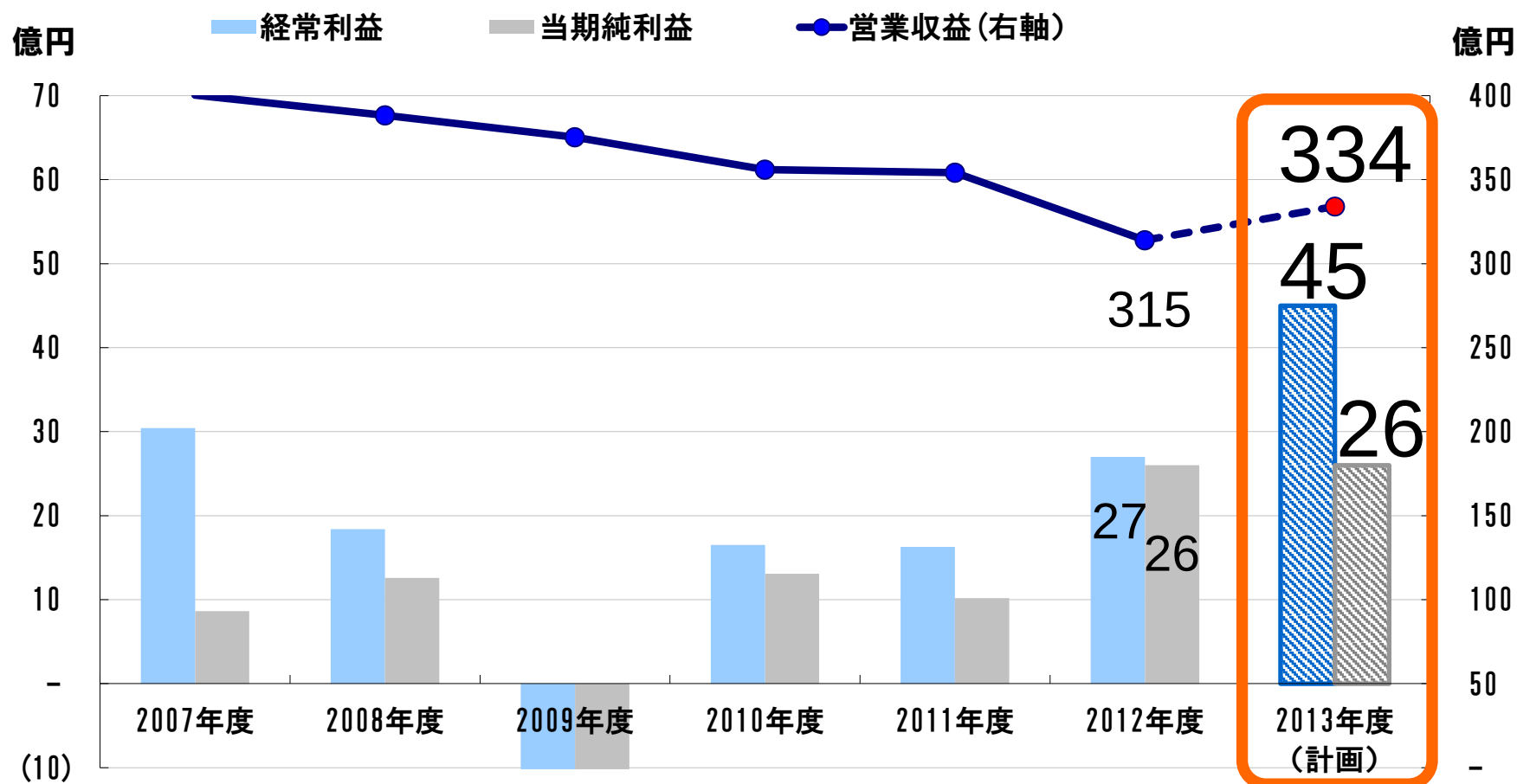
関係会社との連携強化

三井住友銀行、伊藤忠商事、ファミリーマートの持分法適用
関連会社として、緊密・良好な関係の維持・強化



2013年度 業績

6期ぶりの増収・2期連続の増益を目指す



新生ポケットカードとして初めての年

2012年度



おかげさまで30周年。
さあ、次の未来へ

ファミマクレジット
との合併

2013年度

創業31年目

新生ポケットカード
としての初めての年



未来

現在

過去

◆本日の説明会に関するご質問、個別IRミーティング
開催のご希望、その他IRに関するご質問
などございましたら下記までご連絡ください。

<IRに関するお問い合わせ先>

経営企画部 IR・広報担当 廣田・小野

TEL : 03-5441-3450 FAX : 03-5441-1231

E-mail : koho@pocketcard.co.jp

弊社IRホームページ

<http://www.pocketcard.co.jp/ir/>